

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) Landport 厚木愛川町新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4036番地1	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、指定無し	平均居住人員	573 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年7月19日
敷地面積	39,854 m ²	作成者	日本国土開発㈱一級建築士事務所
建築面積	16,666 m ²	確認日	2018年7月19日
延床面積	94,703 m ²	確認者	日本国土開発㈱一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 73% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外のオンサイト手法 73%

④上記+オフサイト手法 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	限られた敷地の中に出る限りの緑地を植栽し、生物資源の保護に配慮した	その他 特に無し
Q1 室内環境	耐用年数の長い内装仕上げ材を採用している	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	BPI _m =0.69、BEI _m =0.44	LR3 敷地外環境
	LR2 資源・マテリアル	自転車置き場や駐車スペースを確保し、周辺への交通負荷抑制に配慮している
	節水型器具の採用により水資源の保護に配慮している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される